

国際協力セミナー『チベット難民の今』

チベットでは子供たち 100 万人が
かつてない悲劇に見舞われています。

4歳以上の子供たちが、本人や家族の意思に関係なく、全寮制の学校に強制連行されています。休み時間・放課後を含め、チベット語の使用が認められるのは週に1時間以下。全寮制のため、家に帰ることもできません。親に会うことも叶わず、子供たちはチベットの文化から強制的に引き離され、母語の習得も難しくなっています。

子供たちにチベットの文化や言葉を教えることは難しくなっています。
「チベット語、文化の普及につとめた叔父は、無期懲役刑を受け、獄中死しました。」(あるチベット僧の姪)

このような状況から逃れるため亡命を目指す人もいます。しかし、近年、その亡命も難しくなっています。

『標高5千メートルのヒマラヤを徒歩で超えて亡命しました。亡命後は栄養失調です。』(亡命したての子供たち)

チベット本土の状況に加え、この14年間支援してきた亡命先のインドの難民街の様子もお届けします。
同じ地球の上で起きていること、一緒に考えてみませんか？

【日時】 2月3日(土) 午後2:30~4:00 (開場午後2:00)

【場所】 大阪市立大淀コミュニティセンター 第3会議室 (大阪市北区本庄東3-8-2)

【講師】 亀田浩史 (難民支援NGO “Dream for Children” 代表)

※略歴は裏面参照

【参加費】 無料

【申し込み】

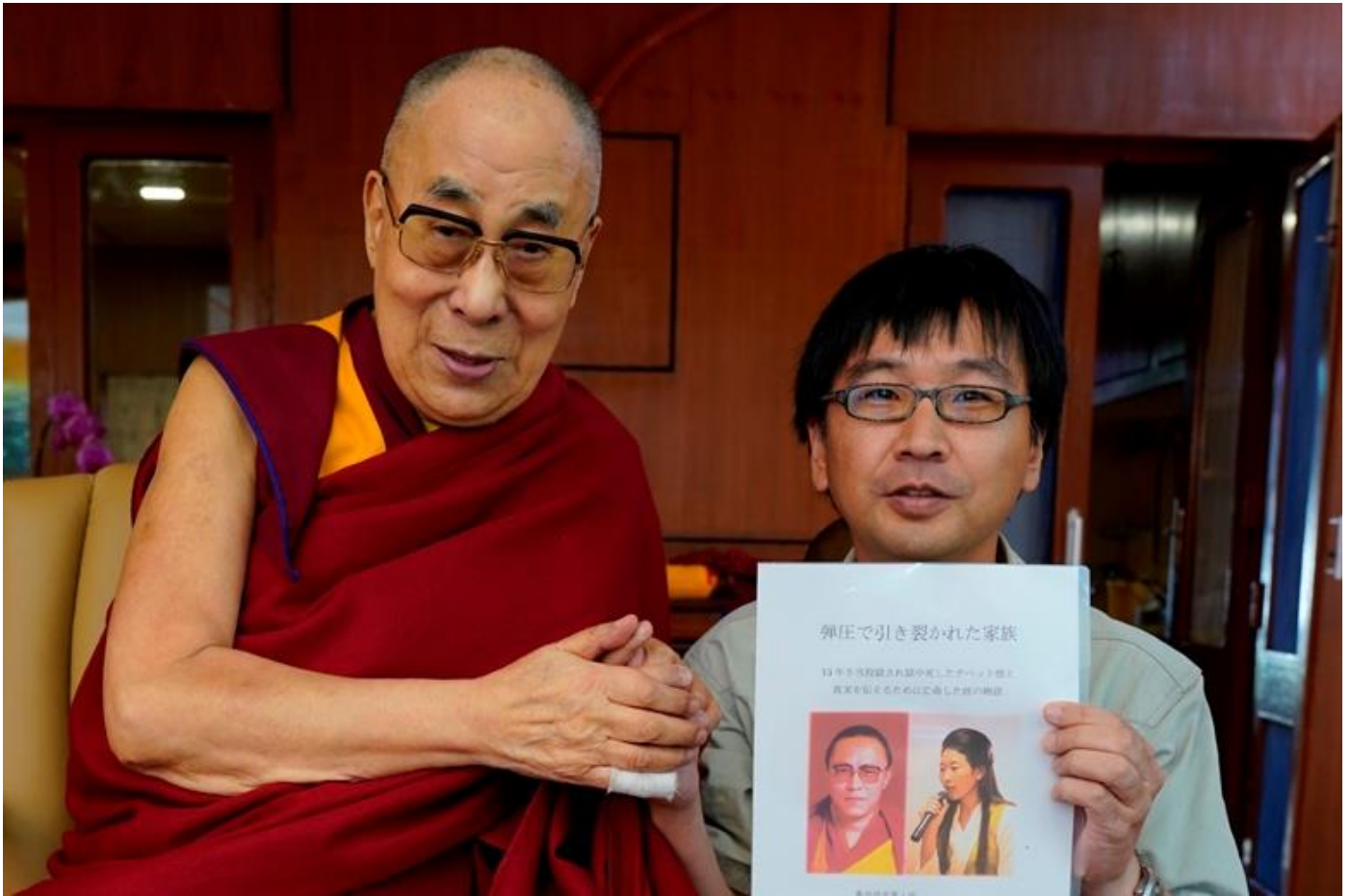
右のQRコードあるいは、電話 06-6374-4086 までお願いします。

※空席があれば当日参加可。



【主催】 難民支援NGO “Dream for Children” <http://dreamforchildren.web.fc2.com/>

【講師略歴】 亀田浩史（難民支援 NGO “Dream for Children” 代表）



東京大学卒。東京大学大学院修士課程修了。

旅の最中に出会った難民たちの姿に胸を痛め、難民支援 NGO “Dream for Children” を設立。チベットからインドに亡命したばかりの人が暮らしていけるよう、無償で英語・コンピュータ教育を実施。これまでに、3,000 人以上を指導。高等教育を志向する難民には返済不要の給付型奨学金を支給。同時に、人々が亡命を余儀なくされる原因を探るべく、聞き取り活動を行い、情報発信を行っている。

● 著書

「弾圧で引き裂かれた家族」

● 訳書

- ・「チベットの主張」
- ・「チベットの反論」
- ・「連れ去られたチベットの少年」
- ・「心の智慧：ダライ・ラマ法王金言集」
- ・「世界がまだ知らない真実」
- ・「暗闇に差した光」
- ・「尋問の記憶」
- ・「故郷を追われるチベット人遊牧民」
- ・「チベット人女性の悲劇」

ダライ・ラマ法王事務所、チベット亡命政権の翻訳も手掛ける。